

第5回 信長の台所歴史検定「津島の達人」試験問題

※ア・イ・ウ・エから正しいものを1つ選んで、解答用紙欄に記入してください。

【1】現在の津島の人口は約何人か、次のア～エの内から一つ選びなさい。

ア 56,000人 イ 66,000人 ウ 76,000人 エ 86,000人

【2】津島市が昭和22年（1947）3月に県下9番目の市として誕生した後、昭和30年1月に合併した村はどこか、次のア～エの内から一つ選びなさい。

ア 神守村 イ 蛭間村 ウ 高台寺村 エ 神島田村

【3】尾張津島藤まつりは天王川公園の藤棚で行われる。それ以外に、江戸時代から藤の名所として名を知られ、愛知県天然記念物に指定されている藤がある。どこの藤か、次のア～エのうちから一つ選びなさい。

ア 藤里町 イ 上新田町 ウ 老松町 エ 下新田町

【4】檀原考古学研究所が2001年度に行った「飛鳥京跡苑池遺構第4次調査」（飛鳥京跡第147次調査）で、津島に関わる木簡（もっかん）が出土した。この飛鳥時代の木簡の表には「戊寅年十二月尾張海評津嶋五十戸」と書かれている。

裏には貢納した品が描かれている。何を貢納したのか、次のア～エの内から一つ選びなさい。

ア 酒 イ 干鮑 ウ 赤米 エ 塩

【5】津島・大津・御津など、全国に「津」のついた地名は多くある。この「津」の持つ本来的な意味は何か、次のア～エの内から一つ選びなさい。

ア 舟つき場 イ 宿場 ウ 市場 エ 寺院

【6】平安時代の「延喜式」に記載された式内社で、現在の津島市内にある神社を、次のア～エの内から一つ選びなさい。

ア 穂歳神社 イ 藤島神社 ウ 津島神社 エ 憶感神社

【14】賤ヶ岳（しずがたけ）七本槍の一人であったが、慶長5年（1600）の関ヶ原の合戦では、徳川家康に味方し、大和国田原本で5000石を安堵された津島衆は誰か、次のア～エの内から一つ選びなさい。

ア 大橋重長 イ 服部一忠 ウ 堀田正利 エ 平野長泰

【15】徳川家康は伊奈忠次に命じて木曾川沿いに堤防を築いた。犬山から木曾川河口部にいたる約48kmの巨大な堤防は何と呼ばれたか、次のア～エの内から一つ選びなさい。

ア 尾張堤 イ 御領堤 ウ 御囲堤 エ 備前堤

【16】津島市の高屋敷・城之越町辺りには、江戸時代初期に尾張藩主の別邸である津島御殿（つしまごてん）がおかれた時代があった。この津島御殿を建てた尾張藩主を、次のア～エの内から一つ選びなさい。

ア 松平忠吉 イ 徳川義直 ウ 徳川光友 エ 徳川宗春

【17】津島村本郷は、津島五ヶ村とも称された。五ヶ村とは、米之座・筏場・今市場・中島（下構）と、もう一つはどこか、次のア～エの内から一つ選びなさい。

ア 本町 イ 橋詰 ウ 北口 エ 堤下

【18】尾張藩の黒印地となり、その後に將軍の朱印地となった津島牛頭天王社の神領地は何と呼ばれる村であったか、次のア～エの内から一つ選びなさい。

ア 神守 イ 向島 ウ 市江 エ 川内

【19】元禄5年（1692）の大火と共に、「津島の8分通り、500軒余り焼失」と津島天王祭の車楽・犬山なども焼失した津島の大火は何年に起きたか、次のア～エの内から一つ選びなさい。

ア 元和4年（1618） イ 延享4年（1747）
ウ 天保4年（1833） エ 嘉永4年（1851）

【20】手習所とは江戸時代の寺子屋のことである。愛知県下で戦国時代からあった最も古い寺子屋とされる津島市内の寺院を、次のア～エの内から一つ選びなさい。

ア 弘浄寺 イ 妙延寺 ウ 瑞泉寺 エ 成信坊

【21】津島・勝幡・木田・甚目寺・新川・名古屋の街道で、新川で美濃街道と合流していた。現在は名鉄津島線（津島一須ヶ口）がこの街道に沿って走っている。この街道を次のア～エの内から一つ選びなさい。

ア 東海道 イ 巡見街道 ウ 津島上街道 エ 津島下街道

【22】江戸時代、熱田宿（宮宿）と佐屋宿を結ぶ佐屋街道には宿場（しゅくば）が置かれた。熱田・岩塚・万場と続く次の宿場を、次のア～エのうちから一つ選びなさい。

ア 萱津 イ 神守 ウ 日光 エ 埋田

【23】尾張地方には尾張四観音として信仰を集めている寺院がある。海部地方には、その一つがある。その寺名を、次のア～エの内から一つ選びなさい。

ア 蓮華寺 イ 成信坊 ウ 甚目寺 エ 瑞泉寺

【24】江戸の和学講談所の門を叩き、塙保己一（はなわ ほきいち）のもとで、『群書類従』の編纂に携わった神守出身の国学者は誰か、次のア～エの内から一つ選びなさい。

ア 真野時綱 イ 石原正明 ウ 大館高門 エ 堀田知之

【25】『小治田之真清水』で「その茎は肥えて白く柔らかであり、美味しいことは江戸で有名な岩槻ねぎに優るとも劣らない。名産品として販売され、この味は他産に優っている」（現代語訳）と賞賛されている。このねぎは原産地にちなんで何とよばれているか、次のア～エの内から一つ選びなさい。

ア 越津ねぎ イ 方領ねぎ ウ 江南ねぎ エ 木田ねぎ

【26】右の写真は神守町にある史跡（市指定文化財）である。何の跡か、次のア～エの内から一つ選びなさい。



ア 神守城
イ 神守関所
ウ 神守一里塚
エ 神守代官所

【27】江戸時代の高僧関通（かんつう）上人は、末法の濁世に僧侶や人々が名誉と利益ばかりに走っていることを深く憂い、西方寺をかたく戒律を守り、念仏を唱える道場の浄土律院とした。そして寺名を円成律寺と改めた。この円成律寺（現、円成寺）の所在地を、次のア～エの内から一つ選びなさい。

ア 今市場町 イ 唐臼町 ウ 鹿伏免町 エ 中一色町

【28】寛永9年（1632）美濃に生まれ、全国を廻りながら生涯に12万体の仏像を彫ったといわれ、津島市天王通りの地蔵堂には、「千体仏」と「護法神像」「善財童子像」「韋馱天像」が残されている。この仏像彫刻で知られる僧は誰か、次のア～エの内から一つ選びなさい。

ア 円空 イ 木喰 ウ 珂碩 エ 元慶

【29】尾張の陶工・加藤春岱（しゅんたい）らと親しく交流をし、作品は、志野・織部・黄瀬戸など広い範囲に及び、茶器に限らず日用食器まで手がけている。余技の範疇を超え、尾張徳川家の御広敷御用を仰せつかった津島の陶芸家は誰か、次のア～エの内から一つ選びなさい。

ア 渡辺又日庵 イ 伊藤才叟 ウ 平沢九郎 エ 大橋秋二

【30】津島神社の東鳥居前には、「あかだ・くつわ」のお店がある。「あかだ・くつわ」は何の粉を油で揚げたものか、次のア～エの内から一つ選びなさい。

ア 米粉 イ そば粉 ウ 小麦粉 エ 片栗粉

【31】明治24年（1891）10月28日午前6時37分、岐阜県美濃地方、愛知県尾張地方を突然猛烈な地震がおそった。津島町の被害も甚大で、死者は68名、負傷者264名、全戸数2,700戸の内、全壊934戸・半壊1,517戸であった。この地震を、次のア～エの内から一つ選びなさい。

ア 三河地震 イ 濃尾地震 ウ 東南海地震 エ 北美濃地震

【32】明治29年（1896）6月に、鉄道株式会社（本社：海東郡津島町）が設立された。この鉄道会社は東海道線「一宮」と関西鉄道線「弥富」をつなぐ鉄道を目的として発足し、明治31年4月に弥富―津島間の営業を開始した。当時の鉄道会社名を、次のア～エの内から一つ選びなさい。

ア 海部鉄道 イ 津島鉄道 ウ 尾西鉄道 エ 名古屋鉄道

【33】津島神社の南鳥居（南門前町1）は、昭和2年（1927）年に寄進建立されたものである。鳥居の西側には「感恩報国」記念碑が建ち、裏面には300名ほどの寄進者名が刻されている。この津島神社南鳥居を寄進したのはどんな人たちか、次のア～エの内から一つ選びなさい。

ア 毛織物業界 イ アメリカ移民 ウ 鉄工業界 エ 旅館業界

【34】野口米次郎（ヨネ・ノグチ）は明治29年（1896）に詩集『Seen and Unseen』を米国で刊行した。日本人特有の繊細な感覚、情緒と幻想性を持つ自由詩は高い評価を受けた。明治35年（1902）には英国に渡り、翌年『From the Eastern Sea』を出版した。優美な情緒にあふれた詩は欧米で絶賛された。明治36年、富山房から出版された『東海より』は日本詩壇でも大きな反響をひきおこした。帰国後、野口米次郎が教鞭をとった大学はどこか、次のア～エの内から一つ選びなさい。

ア 慶応義塾大学 イ 早稲田大学 ウ 東京大学 エ 学習院大学

【35】津島生まれの詩人で、若い頃ヨーロッパで放浪の旅をし、戦後反戦詩人として活躍し、マスコミから「風狂の人」「反骨の人」として取り上げられた人物は誰か、次のア～エの内から一つ選びなさい。

ア 小酒井不木 イ 服部擔風 ウ 川合玉堂 エ 金子光晴

【36】第2次世界大戦の後、昭和25年（1950）6月に朝鮮戦争が起きた。この頃、衣料不足を背景に、津島では毛織物業が好景気に沸いた。この繊維業の景気は何と呼ばれたか、次のア～エの内から一つ選びなさい。

ア ガチャマン景気 イ バブル景気 ウ いざなぎ景気 エ ハイテク景気

【37】津島牛頭天王社は日本の二大牛頭天王社の一つであった。牛頭天王を祀っていたもう一つの神社の現在の神社名を、次のア～エの内から一つ選びなさい。

ア 北野天満宮 イ 八坂神社
ウ 春日大社 エ 石清水八幡宮

【38】津島神社境内の建物で、国の重要文化財に指定されているのは、本殿ともう一つは何か、次のア～エの内から一つ選びなさい。

ア 南門 イ 楼門 ウ 拝殿 エ 弥五郎殿

【39】津島神社本殿（ほんでん）は、慶長 10 年（1605）に寄進造替され、その後は歴代尾張藩主によって修理を施された。本殿は神社建築有数の傑作といわれ国指定重要文化財である。この本殿は誰の病氣平癒（びょうきへいゆ）を祈願して寄進されたか、次のア～エのうちから一つ選びなさい。

ア 豊臣秀吉 イ 徳川家康 ウ 松平忠吉 エ 徳川義直

【40】津島神社の建物は、すべてが文化財といってもよいほどである。津島神社の神社建築様式を、次のア～エの内から一つ選びなさい。

ア 尾張造 イ 神明造 ウ 大社造 エ 春日造

【41】江戸時代後期、津島天王社には社僧坊（しゃそうぼう）が4ヶ寺あった。明星院、実相院、観音坊ともう一つの社僧坊を、次のア～エの内から一つ選びなさい。

ア 宝寿院 イ 宝生院 ウ 大徳院 エ 不動院

【42】神仏習合（しんぶつしゅうごう）の江戸時代まで、津島天王社境内の弥五郎殿社の北側には神宮寺（じんぐうじ。本地堂）があった。そこには仏像（東方瑠璃光浄土の教主）が安置されていた。その仏像名を、次のア～エのうちから一つ選びなさい。

ア 阿弥陀如来像 イ 薬師如来像
ウ 不動明王像 エ 十一面観音像

【43】津島神社には、2本の巨木がある。1本は馬場町にある御神木で樹齢500年とされ、もう1本は東鳥居横にあり、県の天然記念物に指定された巨木で樹齢600年とされている。何の樹木か、次のア～エの内から一つ選びなさい。

ア 楠（クス） イ 椋（ムク） ウ 公孫樹（イチヨウ） エ 松（マツ）

【44】江戸時代に「お蔭参り」が盛んになると、津島牛頭天王社は民衆から厚く信仰され、「西の祇園社・東の津島社」とも「[a]と津島いずれかけても片参り」ともいわれるほど著名な神社になった。

[a]の神社はどこか、次のア～エの内から一つ選びなさい。

ア 多度 イ 伊勢 ウ 熱田 エ 熊野

【45】尾張津島天王祭を描いた版画では『六十余州名所図会』の「尾張津嶋天王祭り」（宵祭図）が広く知られている。

この『六十余州名所図会』の作者は誰か、次のア～エの内から一つ選びなさい。

ア 東洲斎写楽 イ 葛飾北斎 ウ 喜多川歌麿 エ 歌川広重

【46】尾張津島天王祭の朝祭の市江車には 10 人の鉾持ちが乗船し、途中で天王川に飛び込み泳ぎ渡った後、津島神社に走る。津島神社の楼門前の反り橋に張られた「しめ縄」を切って拝殿へ進むのは何番鉾か、次のア～エの内から一つ選びなさい。

ア 一番鉾 イ 二番鉾 ウ 三番鉾 エ 十番鉾

【47】尾張津島天王祭のときに、旧津島五ヶ村の各町の出入口の道に、しめ縄が結びつけられた 2 本ずつ竹が立てられる。この竹は何と呼ばれるか、次のア～エの内から一つ選びなさい。

ア 真柱 イ 天王竹 ウ 祭竹 エ 斎竹

【48】大正 15 年（1926）10 月、津島神社が昇格したのを記念して、七切祭、今市場祭、向島祭は同じ日に行われるようになった。現在、尾張津島秋まつりは 10 月の第 1 日曜日に行われている。大正 15 年に津島神社が昇格した社格を、次のア～エの内から一つ選びなさい。

ア 国幣中社 イ 官幣小社 ウ 国幣小社 エ 県社

【49】尾張津島秋まつりでは、七切、今市場、向島、神守の 4 地区から 16 台の山車が出る。山車の前方を持ち上げて何回も廻すことは、津島では何と呼ばれているか、次のア～エの内から一つ選びなさい。

ア 車切 イ 辻廻 ウ 車廻 エ 車転

【50】津島の文化財の中で、愛知県無形民俗文化財に指定されているものを、次のア～エの内から一つ選びなさい。

ア くつわ踊 イ 鬼祭 ウ 七福神踊 エ 津島秋祭山車

問題は以上です。お疲れさまでした。